



## 指導案(2)

新たなルールを考えよう  
～ルールのない村～

## ●目標

- ・法やルールの意義及び役割（法は共生のための相互尊重のルールであり、国民の生活をより豊かにするものであること、法やルールには、人の行動を規制し、社会の秩序を維持するだけでなく、人の活動を促進したり、紛争を解決したりするなどの機能があること）について考えさせ、理解させる。
- ・どのような手続でルールを作成すればよいか（手続の公平性）、作成したルールをどのような視点で評価すればよいか（手段の相当性、明確性、平等性）について考えさせ、理解させる。

## ●教科等

## ・公民科「公共」

## A 公共の扉

## (3) 公共的な空間における基本的原理

自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(イ) 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解すること。

## B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち

自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解すること。

※ 本指導案については、現行学習指導要領の公民科「現代社会」及び「政治・経済」において、その目標及び内容に即して工夫することにより、実施することも考えられる。

●指導計画【想定授業時間：50分】

進行 (所要)	内容	指導上の留意点
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題把握</li> <li>・「ワークシート」を配布し、課題を把握させる。</li> </ul>	
展開① (5分)	<p><b>問1</b> 「ルールのない村」の問題点は何だろうか。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人ワーク</li> </ul>	<p><b>予想される生徒からの意見</b></p> <p>悪事を行った者に対する罰則（ルール）がないために、①悪事を働く者が出てくる、②被害を受けた者が直接仕返しをしている。</p>
展開② (10分)	<p><b>問2</b> この村にルールを作るとしたら、どのような内容にすれば良いだろうか。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ルールを作成する際の留意事項として、ルールの内容を評価する視点を説明する。</li> </ul>	<p>以下を参照して説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ルールづくり（ルールの在り方を考える）の概要「4 どのようなルールが良いか（ルールの内容）」→10ページ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人ワーク</li> <li>・どのようなルールを作れば問題解決を図ることができるかを考えさせ、ルールを作成させる。</li> </ul>	<p>ルールの内容を評価する視点（手段の相当性、明確性、平等性）を踏まえてルールを作成させる。また、ルール違反者への対処方法（罰則の有無など）についても検討させる。</p>
展開③ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループワーク</li> <li>・個人ワークの検討結果を踏まえ、問2をグループ（4名程度）で議論させ、ルールを作成させる。</li> </ul>	<p>他者と合理的な議論を行い、他者の意見を真摯に聞き、時には自らの意見を変え、より良い意見を創出していくことの重要性について理解させる。</p>
まとめ① (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発表、講評</li> <li>・生徒に検討結果を発表させる。</li> <li>・教員による講評を行う。</li> </ul>	<p>生徒が作成したルールが、ルールの内容を評価する視点を踏まえたものとなっているかについて評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ルールの例</li> <li>「人の畑から許可なく作物を持って行ってはならない。違反した者は、持って行った作物の2倍の作物を被害者に渡さなければならない」</li> <li>●不適切なルールの例</li> <li>・手段の相当性、平等性を欠くもの</li> <li>「盗みをした者が所属する部族の者は全員で、被害者に弁償をしなければならない」</li> <li>「盗みをした者は、被害者からの要求に何でも応じなければならない」</li> </ul>



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確性を欠くもの 「自分がされて嫌なことは、他人にしてはならない」 「悪いことをしてはいけない」</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 手続の公平性を説明する。</li> </ul>	<p>以下を参照して説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ルールづくり（ルールの在り方を考える）の概要「3 どのようにルールを作るか（手続の公平性）」⇒9 ページ</li> </ul> <p>※展開②，③で作成したルールや，上記「不適切なルールの例」を取り上げ，「自分が村人だったとして，自分が全く知らないところで，一部の人たちだけでこのようなルールが勝手に作られていたら納得できるか」等と問い掛けてから，手続の公平性についての説明を行うことが考えられる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ルールの意義・必要性和機能を説明する。</li> </ul>	<p>以下を参照して説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ルールの意義・必要性：ルールづくり（ルールの在り方を考える）の概要「2 ルールの意義・必要性について」⇒8 ページ</li> <li>● ルールの機能：「はじめに」の「1（2）法の機能」の①，②，③⇒2 ページ</li> </ul> <p>※④（資源を配分する機能）は，国家が一定の政策に基づいて，資源を配分するための機能であり，本指導案におけるルールと直接関連するとは言い難いため，ここでは取り上げない。</p>
<p>まとめ② (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「振り返りシート」を配布し，授業の振り返りを行う。</li> </ul>	<p>ルールの意義・役割については，次のような説明が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ルールの機能について，「人の畑から許可なく作物を持って行ってはならない。違反した者は，持って行った作物の2倍の作物を被害者に渡さなければならない」というルールがあれば，このルールによって，次の効果が考えられる。</li> </ul> <p>①盗みをする自分が後で損をするという心理的抑制が働き，秩序が維持される（人の行動を規制し，社会の秩序を維持する機能）</p> <p>②自分の畑から作物が盗まれることがあったとしても，持って行かれっぱなしにはならないと決まっているため，安心して作物を作ることができ，経済活動が促進される（人の活動を促進する機能）</p> <p>③実際に盗みをした人がいた場合の紛争解決方法が明確になっており，紛争解決に資する（紛争を解決する機能）</p> <p>※ルールの意義・必要性や機能について，より深く考えさせたい場合，「【コラム】共有地の悲劇」の事例（⇒23ページ）を用いることも考えられる。</p>

## コラム

## 共有地の悲劇

「共有地の悲劇」は、アメリカの生物学者であるギャレット・ハーディンが1968年に「サイエンス」に発表した論文で、次のような内容です。

すべての人が使用できる牧草地を、想像していただきたい。そのとき、牧夫はおのおの、できるだけ多くの牛を共有地に放そうとすると考えられる。(中略) 各々の牧夫は彼の利得を極大化しようとする。(中略) 「私の群れにもう一頭加えると、私にいかなる効用が生ずるか」。(中略) 合理的な牧夫は、彼が取るべき唯一の行動はもう一頭を群れに加えることだ、と結論づけることになる。そして、もう一頭、もう一頭……と。しかしながら、共有地を分けあっているすべての合理的な牧夫が、このような結論に到達するのである。ここに、悲劇が生ずる。各人が、限りある世界において、限りなく自らの群れを増やすよう彼を駆り立てるシステムに、閉じ込められてしまうのである。共有地についての自由を信奉する共同体において、各人が自らの最善の利益を追求しているとき、破滅こそが、全員の突き進む目的地なのである。共有地における自由は、すべての者に破滅をもたらす。

〔出典〕ギャレット・ハーディン著／桜井徹訳「共有地の悲劇」シュレーダー＝フレチェット編／京都生命倫理研究会訳「環境の倫理 下」(晃洋書房, 1993年)

この「共有地の悲劇」を基にして、以下のような授業を行い、ルールの意義・必要性や機能について考えさせることも可能ではないでしょうか。

〔生徒に提示する事案例〕

ある村に共有の牧草地があり、村人はそれぞれそこで牛を育て、牛乳を搾り、それを売って生活していました。

当初、牧草地には牧草が豊かに茂っていましたが、村人がそれぞれ、競うようにして飼う牛の数を増やし続けた結果、牛たちが牧草を食べ尽くし、牧草地は荒れ果ててしまいました。食べる牧草がなくなった牛たちはやせて牛乳が出なくなり、村人は全員、収入がなくなっていました。

〔生徒への問い掛け例と予想される意見〕

- この牧草地が、自分一人だけで所有する牧草地だった場合、その人は牛の数を増やし続けると思いますか。
  - ➔増やさない。牧草がなくならないように牛の数を調整する。
- 牧草地の牧草に限りがあることは分かっていたはずなのに、どうして村人たちは、それぞれ飼う牛の数を増やし続けたと思いますか。
  - ➔自分が牛を増やさずに他の人が牛を増やしたら、自分だけ損をしてしまうと考えたから。
- このような悲劇を防ぐために、どのような方法が考えられますか。
  - ➔牧草地の利用についてのルールを決めておく。



## ワークシート



年 組 番 氏名

昔あるところに「ルールのない村」があり、イヌやオオカミなどの犬族と、サルやゴリラなどの猿族が住んでいました。

この村では、皆、様々な作物を育て、それらを使った料理を提供するレストランを協力し合って経営しており、全員が豊かな暮らしをしていました。

そんなある日、わがままなサルが、イヌの畑から勝手にジャガイモを取って行ってしまいました。

イヌの話聞いた友人のオオカミは怒って、仕返しだと言って、サルとゴリラが共同で育てていたカブを勝手に持って行ってしまいました。

その後、犬族と猿族の間では、お互いの畑から作物を勝手に持って行くことが繰り返されるようになり、それまでは仲良くしていた犬族と猿族の村人同士までいがみ合うようになって、レストランを続けることはできなくなってしまいました。

また、村人全員が「一生懸命育てても、どうせ勝手に持って行かれてしまう」と考えるようになり、村で作物を育てる者はほとんどいなくなりました。

そして、村はどんどん貧しくなり、村人たちはその日食べる食料にも困るようになってしまいました。



**問 1** 「ルールのない村」の問題点は何だろうか。

**問 2** この村にルールを作るとしたら、どのような内容にすれば良いだろうか。

【個人ワーク】

【グループワーク】

 振り返りシート



年 組 番 氏名

● ルールの内容について

**【手段の相当性】**

① 目的達成のために役に立つルールといえるか。

いえる                       いえない

② (過剰なルールではなく) 目的に照らして、手段が適切といえるか。

いえる                       いえない

**【明確性】** 複数の解釈ができるような曖昧なルールになっていないか。

なっていない               なっている

**【平等性】** 立場を入れ替えても受け入れられる内容となっているか。

なっている                   なっていない

● ルールの意義・役割について

観点	① 社会の秩序を維持 することができるか	② 人々の活動が 促進されるか	③ 紛争が起こったとき、 解決することができるか
ルールがない場合 (ルールのない村)	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない (理由)	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない (理由)	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない (理由)
ルールがある場合 (ルールのある村)	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない (理由)	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない (理由)	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない (理由)

➡ だから、ルールには意義があり、社会にはルールが必要である。